

令和8年6月1日

日本溶接協会規格 **WES 9801**「特定認定高度保安実施者による保安検査基準（コンビナート等保安規則関係）」改正案及び **WES 9802**「圧力設備の維持管理基準」改正案に対する
パブリックコメント募集の結果について

一般社団法人 日本溶接協会 規格委員会

（一社）日本溶接協会は、標記 WES 改正案（2件）に対して、ウェブサイト上で広く皆様方のご意見を募集いたしました。意見をお寄せいただきました皆様に厚くお礼を申し上げます。

今回寄せられたご意見及びそれらに対する考え方並びにその対応について、原案作成委員会で審議した結果、別添のとおり取りまとめましたのでご高覧のほどお願い申し上げます。

記

1. 意見募集の結果
 - ・ **WES 9801** 改正案一意見提出数： 3 件
 - ・ **WES 9802** 改正案一意見提出数： 6 件
2. 対応結果（別添）

お問い合わせ先：

（一社）日本溶接協会 規格委員会 事務局

- ・ FAX の場合 : 03 (5823) 5244
- ・ 郵送の場合 : 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20
- ・ 電子メールの場合 : e-mail : kikaku@jwes.or.jp

※電話によるお問い合わせには対応しかねますので、あらかじめご了承ください。

以上

日本溶接協会規格 **WES 9801** [特定認定高度保安実施者による保安検査基準（コンビナート等保安規則関係）] に寄せられたご意見への対応

No	頁・箇条・項・図表番号	コメント	訂正案	対応方針
1	3.2.15 環境助長割れ 硫酸塩応力腐食割れ	API571-2000 では削除されている。（同指針の Table4.1 " Sulfate Stress Corrosion Cracking"参）	(現行版にも記載があるので、問題がなければ)削除する。	拝承
2	3.2.16 水素損傷	API571-2000 の"3.66 Ti Hydriding" (Ti の水素化/水素脆化)も「水素による損傷」。(硬化し割れることがある。)	(フッ酸環境などの比較的稀な事例も記載されているので)追加する。	拝承 呼称は JPI 規格を参考に「チタン水素ぜい化」と記載
3	3.2.17 供用適性評価	API510 の"FFS"の定義を直訳すると、以下になる。 「圧力容器に含まれるき裂（欠陥）やその他の劣化・損傷、または操作条件を評価し、その容器が継続して使用可能かどうか、その構造的な健全性を判断するための手法。」	"operating conditions"の辺りが引っかかるのだと思いますが、 定義としては左記がベースで良いのでは。 (ただし、容器→設備、操作条件→運転条件。)	原案の通り 原文を直訳すると「きず及びその他の劣化／損傷要因又は運転条件を評価し・・・」ですが、「きず」「その他の劣化」「損傷要因」「運転条件」の関係が曖昧なため、現在のように「減肉及び／又は劣化損傷の評価」に集約しました。運転条件という用語は使いませんが、運転条件下での「減肉及び／又は劣化損傷」を評価するため、現在の定義に含まれると考えています。

日本溶接協会規格 **WES 9802**（圧力設備の維持管理基準）に寄せられたご意見への対応

No	頁・箇条・項・図表番号	コメント	訂正案	対応方針
1	3. 用語及び定義	WES9801 と比較し、同じ用語の定義でも書式(等)が異なる。 (該当語の英語表記がある(無いのもある)、文章の細部が異なる、等。)	理由がない限り、同じ用語は同じ書式(等)にした方が良いのでは。	拝承 WES 9801 と 9802 の表現を統一します。 なお、WES9802 は引用規格との関連がわかりやすいよう英語表記を記載しましたが、WES 9801 には国内法規に関わる用語も多く、英語表記が困難なため、英語表記を省略しました。
2	3.6 環境助長割れ 硫酸塩応力腐食割れ	WES9801-2006 へのコメント参照。 API571-2000 では削除されている。（同指針の Table4.1 " Sulfate Stress Corrosion Cracking" 参照)	同左 (現行版にも記載があるので、問題がなければ)削除する。	拝承
3	3.7 水素損傷	同上 API571-2000 の"3.66 Ti Hydriding" (Ti の水素化/水素脆化)も「水素による損傷」。 (硬化し割れることがある。)	同左 (フッ酸環境などの比較的稀な事例も記載されているので)追加する。	拝承 呼称は JPI 維持規格 8R-12 を参考に「チタン水素ぜい化」と記載

No	頁・箇条・項・図表番号	コメント	訂正案	対応方針
4	3.10 供用適性評価	同上 API510 の"FFS"の定義を直訳すると、以下になる。 「圧力容器に含まれるき裂（欠陥）やその他の劣化・損傷、または操作条件を評価し、その容器が継続して使用可能かどうか、その構造的な健全性を判断するための手法。」	同左 "operating conditions"の辺りが引っかかるのだと思いますが、定義としては左記がベースが良いのでは。 (ただし、容器→設備、操作条件→運転条件。)	原案通り API510 を直訳すると「きず及びその他の劣化／損傷要因又は運転条件を評価し・・・」ですが、「きず」「その他の劣化」「損傷要因」「運転条件」の関係が曖昧なため、現在のように「減肉及び／又は劣化損傷の評価」に集約しました。運転条件という用語は含みませんが、運転条件下での「減肉及び／又は劣化損傷」の許容可否を評価することは自明であり、現在の定義に含まれると考えています。
5	3.14 検査 オンストリーム検査	WES9801 にはこの用語は登場せず「開放しない場合(の検査)」という書き方になっている。	(現行版でも使われているが)可能であれば統一するのが良いのでは。 (もしくは、"非開放検査"?)	原案の通り、一部修正 WES 9801 の内部の検査は、内部流体により生じる腐食について内部の「目視検査」、劣化損傷に対して内部の「非破壊検査」と定義しており、開放、非開放では区分していません。 WES 9802 のオンストリーム検査は、API 規格と同様に非開放の内部検査をいい、国内には相当する用語がありません。よって、誤解を与えないように、WES 9802 では API の用語をそのまま採用しました。 オンストリーム検査は WES9801 の中では、主に開放して行う内部の検査の代替検査として利用される機会が考えられます。用語の違いが分かるよう上記のような補足を解説 5.5.2 b)に追記しました。
6	附属書 C API579-1/ASME FFS-1 (後略)	API ベースの FFS 評価を孔食やクリープに広げるにあたり、JIS 材と ASTM 材の対応について記載する必要はないか？特に後者の余寿命評価。従来の減肉評価であれば、WES2820 で JIS B8265 等が参照されているが？	対照表を付けないのであれば、公知の文献を参照する。	拝承、一部修正 C.2.8(クリープの評価)に、「評価対象設備の材料又はそれと同等の材料のデータ」を使用することを追記しました。なお、高圧ガス設備の規格類には、JIS と ASTM の対照表がありません。参照可能な書籍は、例えば「金属材料データブック JIS と主要海外規格対照」（日本規格協会, 2009）が考えられますが、あくまでも一例であり、引用は控えました。 C.2.1(ぜい性破壊の評価)についても材料を読替える必要がありますが、この読み替えは JIS B8267 を参照可能なため、この点を追記しました。 減肉及び孔食の評価は材料規格によらず、構造規格によります。API579-1ASME FFS では、構造規格を ASME に限定しせず、JIS も使用可能なため、この規格で個別に読替えは記載していません。